



★ 止血には直接圧迫！ ★



9月、季節は秋。農作業やスポーツなど、外で過ごす時間も多くなりがちです。そんな時、何かの拍子にケガをして出血してしまったら、みなさんはどうしますか？ 出血が続く時はすぐに「直接圧迫止血法」を行ってください！

～直接圧迫止血法～

- ①止血する時に直接血液に触れないようにゴム手袋やビニール袋などを使用してください。
- ②傷口にタオルやガーゼなど清潔なものをあてて、その上から手で圧迫します。
- ③片手で止血できなければ、両手で圧迫し体重をかけて圧迫します。
- ④血がにじみ出るような場合は、初めに当てたタオルやガーゼの上から更に重ねて圧迫します。



※心筋梗塞や脳梗塞など、持病の関係で血液を固まりにくくする薬を服用している場合、出血しても自然に血液が固まりにくいです。このような場合でも直接圧迫止血法は有効です。

より知識を深めて頂くために救命講習を受講しましょう、詳しくは消防署までお問い合わせください。



右から事故 出会い頭事故に注意！！

10月以降の夕暮れ時から夜間にかけて、高齢歩行者の道路横断中の事故が例年多発傾向にあります。特に、ドライバーからみて右から横断する歩行者に対する事故が目立っています。

ドライバーは歩行者を早期に発見できるように、夕暮れ時の早めのライト点灯とライトのハイビーム・ロービームの切り替えをお願いします。歩行者は、夕暮れ時や夜間外出の際には反射材などを着用してください。

また、『交差点における出会い頭事故』も多発しています。出会い頭事故は、お互いが「止まるだろう」「こっちの方が速いから大丈夫！」など、自分の都合がいいように判断したために起こってしまうケースが大半を占めています。あなたの意識で交通事故を防ぐことができるのです。



交差点や、見通しの悪いところでは、必ず一時停止をし、『事故にあわない！起こさない！』を心がけましょう。

